

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	火災予防運動事業	所管	消防本部 予防課
			TEL 2929-9121

事業の目的 (何の為に 行うか)	火災が発生しやすい気候となる時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、死傷者や財産の損失を防ぐことを目的とする。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市民	対象とした数	339,058	人
		実際に 利用した数	2,200	人

活動の内容	(何を したか)	1 火災予防キャンペーンの実施(秋季・春季) 2 火災予防ポスターの配布 3 小・中学生を対象とした火災予防ポスター展の開催 4 各種広報媒体を活用した火災予防思想の普及 5 防火パトロール(広報活動を含む。)の実施 6 関連・類似事業に係る住宅防火対策の推進							
活動実績	項目名	火災予防運動の協力依頼	2108	項目名	火災予防キャンペーンへの市民参加	334	項目名	防火パトロールの実施	14
			----- 単位 件			----- 単位 人			----- 単位 日

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	1,162	831	10,225	30.2

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	出火率	人口1万人あたりの出火件数	4	2.7	148.1
			----- 単位 件	----- 単位 件	----- 単位 %

今後の方向性 (所管の意見)	総合評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []			
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止			
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了			

今後の方向性 (二次評価の意見)	総合評価	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了			
		拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了			
	予算	現状どおり 増額 減額 終了			

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	100200	TEL	2929-9121
事業コード	火災予防運動事業					
100202						
開始年度		昭和 30 年度	—	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	なし			全国火災予防運動実施要綱				
	関連・類似事業	住宅防火推進事業(予防課)、防火安全協会補助金(予防課)							
	総合計画の体系	政策	第6章 みんなが安心して暮らせるゆとりあるまち	施策	1節 消防・救急	中柱	2 火災の予防	小柱	(1)住宅防火の推進
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位...43施策中 13 位			・実施計画における位置づけ... H19 *** H20 ***				
事業開始の背景	火災予防運動は、平成元年から秋季は11月9日から15日まで、春季は3月1日から7日までと期間が定められ、全国において実施されている。所沢市でも、火災による被害を低減するため、この期間にあわせて広報活動などを実施することとした。								

③事業の内容	目的(何のために行か、具体的に) 火災が発生しやすい気候となる時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、死傷者や財産の損失を防ぐことを目的とする。											
	対象(誰を、何を対象としているのか)											
	対象数					利用数の考え方 火災予防運動に係る各種キャンペーンに参加した人数(協力依頼者を含む。)						
	単位	平成 18 年度	337,883	人	単位	平成 18 年度	2,100	人	単位	平成 19 年度	2,200	人
	単位	平成 19 年度	339,058	人	単位	平成 19 年度	2,200	人				
事業の具体的な内容及び実施方法												
1 火災予防キャンペーンの実施(秋季・春季)												
2 火災予防ポスターの配布												
3 小・中学生を対象とした火災予防ポスター展の開催												
4 各種広報媒体を活用した火災予防思想の普及												
5 防火パトロール(広報活動を含む。)の実施												
6 関連・類似事業に係る住宅防火対策の推進												

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>									
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())								
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了								
	平成19年度中に改善した点 住宅防火対策を推進するため、関連・類似事業である住宅防火推進事業と連携を図り、火災予防キャンペーン等で住宅用防災機器の普及啓発に努めた。									

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		1,012	1,162	1,212
	決算(見込み含む)		1,005	831	
	(嘱託職員)(臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)		
	正規職員人件費	0.20 人	1,840	1.00 人	9,394
	公債費				
	事業費合計		2,845	10,225	
	財源内訳	一般財源	2,845	10,225	1,212
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)	8.4	30.2		
	利用数一単位あたり(単位:円)	1,354.8	4,647.7		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	火災予防運動の協力依頼	火災予防ポスターを配布した件数	件	1920	2108	2000	
		火災予防キャンペーンへの市民参加	火災予防キャンペーンに参加した延べ人数	人	180	334	400	
		防火パトロールの実施	秋季と春季にパトロールを実施した日数	日	14	14	14	
	成果分析	出火率	人口1万人あたりの出火件数	目標値	4.2	4	4	
実績				3	2.7		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	
% 達成率				140.0	148.1	2		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		類似・関連事業などとの整理・統合		受益者負担の有無	見直しの必要性
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業 <input type="checkbox"/> 統合等必要がない	関係	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	年2度の火災予防キャンペーンについては、同一場所、同様の内容で実施していることから新しい試みも必要である。また、総合計画への貢献度を上げるために、総合計画の関連事業と連携をしていく必要がある。予防課の最優先事業である住宅防火推進事業と本事業を関連付け、住宅用防災機器の設置数増加に貢献する必要がある。				
⑧二次評価	今期目標項目(何を)		達成水準(どこまで)		時期(いつまで)
	平成20年度における目標設定	火災予防キャンペーン(秋季、春季)	実施する		火災予防期間中
		火災予防ポスター	市内事業所や自治会等に配布する		火災予防運動前
	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由 出火率が年々低下していることから本事業の貢献度は高いものと認められる。今後は、最優先事業である住宅防火推進事業と本事業との連携方法等を見直し、火災予防キャンペーンを実施して行くなど事業の改善を図る余地はある。					
評価日		平成20年5月7日	記入者職氏名		予防課長 木下 雅孝

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性							
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価日						
	次年度用事前評価	部内優先順位...	位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価日							

⑨個別計画における方向性	⑤環境基本計画		本事業の左記計画における位置づけ... 無し		計画コード	
	施策の体系				施策の方向	
	⑥次世代育成支援行動計画					
	基本目標		本事業の左記計画における位置づけ... 無し			計画コード
	主要課題					
施策の方向						